

2014年 ISAF 年次会議 レポート

リオに向けての大陸別クオリファイレガッタにアジア独自の大会をゲット！！

アフリカ大陸も！！

於： パルマ スペイン 11/2-9, 2014

報告 大谷 たかを (ISAF イベント委員、カウンスルメンバー)

リオに向けての国枠選考は9月にサンタンデルで開催された巨大イベント（全五輪種目の世界選手権一括開催）でその50%が決定され、日本は470級男女とウインド男子がその枠を獲得したことはすでに周知のこととなっている。残る国枠はそれぞれの世界選手権と大陸別の選考大会に振り分けられており、その大陸別枠選考にはワールドカップを活用するという強いISAFの意向に対して（南北アメリカは2枠ある種目についてはその1枠をパンアメリカン大会で、）アジアとアフリカはそれぞれの独自の選考大会をとの強い希望で大陸ごとが大きくまとまり一丸となってISAFの方針にチャレンジした結果、アジア大陸枠は2015年のワールドカップファイナルに準備されるチャータ艇を使ってレーザー/ラジアル男女、ウインド男女、49er/FX男女のアジア枠選考大会を2016年3月にアブダビで開催することとなった。470(男女)、フィン(男子)、カタマラン ナクラ(混合)については2015年9月のチンタオワールドカップを採用。

このアブダビ大会はアジアにとってはISAFの推していた11月の2015年メルボルンワールドカップに対して以下の大きなメリットがある

1. エリートのみ参加となるワールドカップに比べてアジア諸国からの参加が容易になる。
2. 大会直前にリードアップレガッタ、その前にそれぞれのクラスのコーチングウィーク等を開催することが出来る。
3. これにオリンピックチャレンジの夢をより多くの国々に与えることが出来る、より多くの国がチャレンジするという事はIOCの求めている目的に合致する。

今回の会議での主なトピックは

1. 2016リオ大会のアップデート

8月のテストイベントは概ね問題なく行ったが懸念されているグアナバラ湾の汚染対策は水面下にある遅浮遊物がセンサーやラダーに引っかかる問題が多くみられ、回収ネット等の大規模な設置が急がれている。汚染度は雨の量や風向によって大きく変わり、問題の無い状態の時も見受けられる。しかし根本的な水質改善に向けての下水浄化計画はあるが工事が大会に間に合うかは疑問。

2. 2016リオ大会でのレースフォーマット

49er がここ数年にわたってテストし、成果を上げていた幅の狭いコースでのタイト

3. 2016リオ大会に向けてのクオリファイ

選考大会別クオリファイ数

男子

ウインドサーフィン	18	6	2	2	1	2	2	1	1	1	0	36	36
1人乗りディンギー	23	9	2	2	1	2	2	1	1	1	2	46	46
1人乗りディンギー (ヘビー級)	12	4	1	1	1	1		1	1	1	0	23	23
2人乗りディンギー	13	6	1	1	1	1		1	1	1	0	26	52
スキッフ	10	3	1	1	1	1		1	1	1	0	20	40

女子													
ウインドサーフィン	13	6	1	1	1	1		1	1	1	0	26	26
1人乗りディンギー	19	4	2	2	1	2	2	1	1	1	2	37	37
2人乗りディンギー	10	3	1	1	1	1		1	1	1	0	20	40
スキッフ	10	3	1	1	1	1		1	1	1	0	20	40

混合													
マルチハル	10	3	1	1	1	1		1	1	1	0	20	40
												274	380

4. ISAF ワールドカップ

アブダビでのグランドファイナルが今年より正式に動き出し念願のワールドカップがシリーズとして完結するようになる（2015シリーズはメルボルン、マイアミ、イエール、ウェイマス、チンタオ、アブダビ ファイナルの7イベント）

アジアでのワールドカップはチンタオが引き続き2年間の開催契約、ISAFの意向では2017年から東京オリンピックにかけては是非日本でやりたいとのこと。

5. ユースワールド／ユース五輪の予定

今年の大会（ポルトガル タビラ にて）は73か国参加で大成功！！

2015年(12月末)のマレーシア大会からは29erが男女別の種目となる

2016年(12月末)はオマーン

2017年(7月)イスラエルはビザの取れない国があるのでその問題解決が必要。

2018年(7月) アメリカ・テキサス州 コープスクリスティ

ユース五輪

2018年 アルゼンチン・ブエノスアイレス

参加年齢枠については見直し中、詳細はIOCの指示待ち。

6. 懸案であったIFDS(国際障害者セーリング協会)がISAFに正式に統合された。

カウンシルでは満場一致で決定、全員立ち上がって拍手で歓迎された。

7. <ロレックスワールドセーラー オブ ザ イヤー>女子はブラジルはじめ世界のメディ



アが注目するブラジルの新星49er FX マルティン グラエル／カヘナ クンゼ 組、男子はアメリカスカップで驚異の逆転劇を成し遂げたオラクルチームのジェイムス スピットヒル（オーストラリア）が受賞した。スピットヒルは「あくまでもチームとしての受賞として受けさせていただきます！！」というコメントを添えた。

8. 今後の会議予定

2015年次会議 中国 海南島 サンヤ（ボルボオーシャンレースのストップオーバーとして急速世界に知られるようになった）

9. アジアセーリング連盟、ルール委員会他委員会 および大型艇関係詳細に関しては 柴沼、田中、斉藤(愛子)、小林、角、鈴木委員および植松副会長からのレポートを参照してください。東京オリンピック準備委員会からは入部氏が参加、東京都知事の予算見直しおよび羽田空港への進入路の問題が懸念材料となっているセーリング会場の詳細打ち合わせ、2017年からのワールドカップへの可能性についてISAFとの意見交換が行われた。

10. インターナショナルメジャラーに東島 和幸が初任命、柴沼 克己、前園 昇両名がインターナショナルジャッジに再任命された。



会議が開催されたマヨルカ島は西地中海バルセロナ沖に浮かぶスペインの島で、その面積は奈良県とほぼ同様。マイルドな気候からヨ

ーロッパ中からのバケーション客で島の人口が倍に膨らむという。ヨットのメッカといわれるパルマ港にはメガヨット/ボートがぎっしりと並びメガヨットのマストは市の中心部にある巨大聖堂(写真左端)と尖塔と並ぶ高さに見える。例年3月のプリンセス ソフィア杯にはその温暖さもあり世界中から多くのセーラーを集めている。来年からはワールドカップからは外れるがイエール大会に向けての選考大会となる。

以上